



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社ジェイエスエス
コード番号 6074 URL <https://www.jss-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 孝夫
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 濱治 雅弘
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名
TEL 06-6449-6121

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,062	5.4	28	35.8	23	51.0	13	55.6
2025年3月期第1四半期	1,956	—	43	—	47	—	30	—

(注)包括利益 2026年3月期第1四半期 14百万円 (51.9%) 2025年3月期第1四半期 30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	3.37	—
2025年3月期第1四半期	7.91	—

(注) 当社は、2025年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
また、連結子会社のみなし取得日を2024年6月30日としているため、2025年3月期第1四半期においては、同社の2024年6月30日時点の四半期貸借対照表のみを連結しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,403	2,985	40.3
2025年3月期	7,520	3,011	40.0

(参考)自己資本 2026年3月期第1四半期 2,985百万円 2025年3月期 3,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	7.50	—	10.00	17.50
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,192	9.7	556	120.8	546	115.8	355	84.8
								91.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	4,026,056 株	2025年3月期	4,026,056 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期1Q	403 株	2025年3月期	403 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	4,025,653 株	2025年3月期1Q	3,867,653 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、継続する原材料費や労務費の上昇、地政学的な緊張の高まりや世界的な通商政策の混乱など先行き不透明な状況が続く中、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、景気は緩やかに回復してまいりました。

このような中、当社グループは「水を通じて健康づくりに貢献する」という経営理念のもと、より多くの人に心と体の元気を届けるべく、ベビーからシニアまで幅広い層の健康促進に取り組んでまいりました。

子供会員集客の施策では、新規獲得を目的とした、春の入会キャンペーンの他、1日体験会を含めた間口を広げた集客の施策を実施する事により、当社の子供向け教育ノウハウの強みを訴求し、会員の獲得に努めてまいりました。

大人会員集客の施策では、国内特許を取得した自社開発の水中バイク「Jパドルバイク」に水中トランポリン、水中ウォーキングプログラムを合わせたオリジナルの水中運動プログラム「バイポリン&ウォーク」について、当社事業所にて展開するほか、他社施設への販売拡大にも努めてまいりました。

水泳授業受託では、全国的な学校プール施設の老朽化や指導者不足により水泳授業の民間委託が増加するなか、当社の培ってきた専門的な水泳指導のノウハウを活かした小中学校への水泳授業受託に積極的に取り組みました。

日本テレビホールディングス株式会社との業務提携の状況につきましては、同社100%子会社である株式会社ティップネス（以下「ティップネス」）との協業について、両社のノウハウ・経営資源を持ち寄ることで、両社の企業価値向上に資する効果的なシナジーをさらに強力に推進するため、以下の施策を進めてまいりました。

<ティップネスとの主な協業内容>

○「地域から水難事故を0（ゼロ）に！着衣水泳体験会」の開催

2005年より安全水泳に取り組んでおります当社のノウハウを活かし当社とティップネス社2社共同開催の形で、不慮の事故から命を守る対処法を身につける「着衣水泳体験会」を2025年5月25日にJ S Sスイミングスクール立石（東京都葛飾区）で開催、6月15日にはJ S Sスイミングスクールおゆみ野（千葉市緑区）で開催しました。

○オンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」の提供

ティップネスが持つオンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」を当社会員およびその家族向けに提供し、顧客満足度向上とコロナ禍における施設に頼らない収益確保策の一つとしました。

○J S Sキッズファミリープラン

両社が近隣に商圏を持つ事業所において当社子供会員の家族が割引価格でティップネスの事業所を利用出来る「J S Sキッズファミリープラン」を設定し、顧客満足度向上につながるとしました。

○協業会議および分科会の定期開催

当社とティップネスとの情報交換の機会として、協業会議および各業務、テーマに沿ったより細分的な会議体としての分科会を実施しております。

○その他

商材や備品の共同購入によるコスト削減や人事採用の情報交換等、両社の強みとスケールメリットを活かした様々な分野におけるシナジー効果を生み出す取り組みを協議し、実施するとともに、更なる施策の準備を進めてまいりました。

このような営業施策の結果、会員動向につきましては、原材料価格の上昇やライフスタイルの多様化など、消費環境の変化を受けて、新たなニーズへの対応が求められる状況となっております。

こうした背景もあり、会員数は当初の想定よりもやや伸び悩んでおりますが、ニーズの変化を的確に捉えた施策を講じることで、さらなる改善を図ってまいります。

なお、当第1四半期連結会計期間末における当社グループの会員数は81,468人（前年同期比0.5%減）となりました。

売上においては、2025年6月の会費改定および2024年11月14日に公表しました「今後のM&A戦略強化」第一弾として実施した、株式会社ワカヤマアスレティックスの連結子会社化が寄与し、前年を上回る結果となりました。

一方、費用面では、将来への投資としてグループ全体の従業員の処遇改善に伴う人件費の増加、集客強化に伴う広告宣伝費の増加、前述の連結子会社化に伴う子会社への設備投資やその他企業結合に係る費用の発生等により、費用は増加し、利益は前年を下回る形となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,062百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益28百万円（前年同期比35.8%減）、経常利益23百万円（前年同期比51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結累計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ116百万円減少し、7,403百万円となりました。これは主に、現金及び預金が84百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、4,418百万円となりました。これは主に、長期借入金が207百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が70百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、2,985百万円となりました。これは主に、利益剰余金が26百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました連結業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,067,040	982,889
受取手形、売掛金及び契約資産	109,410	131,409
商品	133,671	136,065
その他	141,765	145,075
貸倒引当金	△1,577	△2,015
流動資産合計	1,450,310	1,393,424
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,935,333	2,881,356
土地	1,866,691	1,866,691
その他（純額）	117,130	156,933
建設仮勘定	2,750	—
有形固定資産合計	4,921,905	4,904,980
無形固定資産		
のれん	25,578	24,696
その他	56,037	53,742
無形固定資産合計	81,616	78,438
投資その他の資産		
敷金及び保証金	740,228	712,468
繰延税金資産	140,841	137,299
その他	202,747	193,485
貸倒引当金	△16,850	△16,231
投資その他の資産合計	1,066,967	1,027,022
固定資産合計	6,070,488	6,010,442
資産合計	7,520,798	7,403,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,909	170,787
1年内返済予定の長期借入金	563,554	634,132
未払法人税等	15,622	16,935
未払消費税等	42,312	111,824
前受金	521,409	581,628
賞与引当金	100,995	5,067
その他	615,730	583,791
流動負債合計	1,999,532	2,104,166
固定負債		
長期借入金	1,911,736	1,703,883
退職給付に係る負債	53,764	51,431
資産除去債務	444,668	446,138
繰延税金負債	42,363	45,155
その他	57,597	67,493
固定負債合計	2,510,130	2,314,101
負債合計	4,509,662	4,418,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,729	330,729
資本剰余金	125,665	125,665
利益剰余金	2,597,530	2,570,849
自己株式	△45,569	△45,569
株主資本合計	3,008,355	2,981,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,781	3,923
その他の包括利益累計額合計	2,781	3,923
純資産合計	3,011,136	2,985,598
負債純資産合計	7,520,798	7,403,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,956,648	2,062,407
売上原価	1,656,090	1,770,685
売上総利益	300,558	291,722
販売費及び一般管理費	256,699	263,548
営業利益	43,858	28,173
営業外収益		
受取利息	107	108
貸倒引当金戻入額	594	181
電力販売収益	—	1,268
受取保険金及び配当金	2,942	—
その他	2,681	1,148
営業外収益合計	6,324	2,707
営業外費用		
支払利息	1,732	5,443
その他	1,430	2,418
営業外費用合計	3,162	7,862
経常利益	47,020	23,018
特別損失		
固定資産除却損	—	269
特別損失合計	—	269
税金等調整前四半期純利益	47,020	22,749
法人税、住民税及び事業税	3,384	3,435
法人税等調整額	13,030	5,738
法人税等合計	16,415	9,173
四半期純利益	30,605	13,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,605	13,576

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	30,605	13,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,142
その他の包括利益合計	—	1,142
四半期包括利益	30,605	14,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,605	14,718

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	54,261千円	61,657千円
のれんの償却額	一千円	882千円